

令和6年度決算

普通会計 決算認定特別委員会 説明資料

教育委員会

目 次

I	令和6年度教育委員会主要施策の成果の概要	3
II	主要事業の内容及び成果	7
III	歳入歳出決算額	14
1	一般会計決算額	14
	(1) 歳入決算額	14
	(2) 歳出決算額	15
2	特別会計決算額	16
	(1) 歳入決算額	16
	(2) 歳出決算額	16

I 令和6年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（令和5年度～令和8年度）の基本方針〉

「個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成」

1 未来を拓く力を育む教育の推進 （教育DX推進課、高校教育課）

- (1) 教育DXを推進し、児童生徒が自ら課題を発見し、主体的に考え、協働して課題解決策を生み出すことができる資質・能力を育成するため、「徳島県学校教育情報化推進計画」のもと、学習の基盤となる情報活用能力の育成や遠隔・オンライン教育の実施など、ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進や、基盤となるICT環境の充実を図るとともに、教員のICT活用指導力の向上に努めた。
- (2) 国際社会で必要とされる資質・能力やグローバルな視点をもって、本県の活性化や持続的発展に貢献する「グローバル人財」を育成するため、英語4技能（聞く・読む・話す・書く）の総合的な育成に向けた英語の授業改善や指導体制の充実を図るとともに、小・中・高等学校の各発達段階に応じ、外国人との交流などの体験的学習機会を提供するほか、留学・語学研修を希望する生徒に対して留学情報の提供や経費を支援するなど、児童生徒の確かな英語力の育成に努めた。

2 個性を活かし、確かな学びを育む教育の推進 （教育創生課、高校教育課、生涯学習課）

- (1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を土台とし、自ら考え、判断し、表現するために必要となる資質・能力を総合的にバランスよく育成するため、地域社会などと連携し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業の改善を図るとともに、生徒自らが、多角的な視点から課題解決を図る徳島ならではの「探究活動」の深化に努めた。
また、将来の地域を支え、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するため、家庭や地域、経済団体等と連携した取組を推進するとともに、児童生徒のキャリアプランニング能力を育成する「キャリア教育」を展開した。

(2) 人口減少が急速に進む地域において、県内外から生徒が集う魅力ある学校づくりを進めるため、豊かな地域資源を生かした教育活動を展開するとともに、入学希望者の増加に対応できるよう、「第3海部寮」や総合寄宿舍「三好池田寮」の整備による受入体制の拡充に努めた。

また、産業教育の実践的な取組を推進するため、専門学科、普通科、総合学科などの異学科や企業・高等教育機関との連携により、地域課題を解決する新たな商品開発に取り組んだ。

3 全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進 (特別支援教育課、いじめ・不登校対策課)

(1) いじめや不登校、虐待など、児童生徒を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、児童生徒が安心して学べる教育環境を実現するため、スクールカウンセラー等、専門家の学校への配置による教育相談・支援体制の充実を図るとともに、学校だけでは解決が困難な事案に対応するため、スクールロイヤー等からなる「専門家チーム」を設置するなど、組織的に対応できる体制を構築した。

さらに、不登校生徒等の「学びの場」を確保し、不登校の未然防止・登校復帰を支援するため、落ち着いた空間で学習・生活できる「校内サポートルーム」の設置を推進した。

(2) 誰一人取り残されず、一人ひとりが輝き、活躍できる教育を一層推進するため、専門家との協働等により「ポジティブ行動支援」を強化するとともに、特別支援教育については、VR等を活用したリアルな体験やテレワークを活用した活躍の場等を開拓する取組や、地域のエシカル消費の課題に特別支援学校が主体的に関わり、その取組を地域へ広く発信すること等により、子ども達と社会との交流を促進する取組を実施した。

また、「ダイバーシティ先導モデル」として国府支援学校の整備を行うため、文部科学省が令和3年9月に公布した「特別支援学校の設置基準」に即応し、「安全で快適な教育環境」はもとより、多機能で自由度の高い「作業スペース」の整備や「文化・スポーツ活動」の核となる施設整備などを進めるプロジェクトの先駆けとなる「新校舎棟」の工事を進めるとともに、校舎内備品や教材等を整備した。

4 人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進

(施設整備課、生涯学習課)

- (1) 人口減少や社会のつながりの希薄化が進行する中で、地域の抱える身近な課題を、若い世代が自ら解決していく力を醸成するため、学校の枠を超えた高校生がチームとなり、NPOや企業で活躍する方から課題解決手法を学び実践することを通じて、若手人材の育成に努めた。
- (2) 学びの場としての教育環境の充実はもとより、災害時の安心・快適な避難所としても活用できるようにするため、体育館の空調設備の整備やトイレの環境改善など、県立学校施設の機能強化に集中的に取り組んだ。
また、児童生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、「徳島県立学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設を計画的に整備した。

5 地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進

(教職員課、福利厚生課、義務教育課、体育健康安全課)

- (1) 南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えて、将来の地域防災を担う人材を育成するため、児童生徒の発達段階に応じた系統的・体系的な防災教育の実施や、中・高校生の防災士資格の取得を促進した。
また、学校の災害対応力の向上を図るため、小・中学校及び県立学校の教員の防災士資格の取得と取得後のスキルアップを支援するなどの体制整備を行うとともに、教員を地域とのコーディネーター役、災害発生時にリーダーシップを発揮できる人材として養成した。
さらに、防災クラブを拠点に、地域の防災組織が実施する訓練・ボランティア活動に中・高校生が参画するなど、学校と地域の連携を促進した。

(2) 教職員のワークライフバランスを実現し、児童生徒により良い教育を行うことができる環境を構築するため、業務の更なる改善のほか、「学習指導員（学びサポーター）」や「教員業務支援員」、副校長・教頭の学校マネジメント等に係る業務を専門的に支援する「副校長・教頭マネジメント支援員」といった、学校の教育活動における多様な支援スタッフの活用を支援するとともに、中学校における部活動の適正化に向け、指導者の確保や関係団体との連携強化等に関する実証事業を実施するなど、新たな働き方改革プランのもと、学校における働き方改革を強力に推進した。

また、長時間労働による心身の健康悪化を未然に防止するため、著しく時間外在校等時間が増加するなどした県立学校教員に対して「産業医の面接指導」を実施するなど、教職員が安心して働ける職場環境づくりをより一層推進した。

6 文化・スポーツが躍動する教育の推進 (義務教育課、高校教育課、体育健康安全課)

(1) 徳島が誇る「あわ文化」等、文化芸術を次代に継承する人材を育成するため、生徒が一流の文化芸術に触れる機会を創出するとともに、作品・活動の発表に向けた機会を広く提供した。

また、その魅力を県内外及び海外に向けて発信する人材の育成に向けて、「あわ文化」の伝承・発信における中学生のリーダーである「あわっ子文化大使」や高校生の「あわっ子文化大使サポーター」の文化体験活動を充実させるなど、「あわ文化」に対する教育の推進に努めた。

(2) 高校スポーツの全国大会等での継続的な入賞を目指すため、「競技力向上指定校」において、強化活動や指導者育成への集中的な支援に努めた。

また、本県スポーツ科学の普及・振興を図るため、スポーツ分野のリーディングハイスクールである鳴門渦潮高等学校において、県内大学や関係機関との連携により、選手強化と指導者の育成を推進した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1. 未来を拓く力を育む教育の推進	徳島県G I G Aスクール構想推進事業	<p>県立学校児童生徒1人1台端末環境を整備するため、端末調達・端末設定・端末配付を行った。</p> <p>また、学習者用端末を活用するために必要不可欠であるオフィスソフトや、児童生徒1人1台端末環境を活用した教材共有や個別・協働学習を容易に実現することができる授業支援システム等、有事のオンライン教育等の円滑な実施にも活用することができるクラウドアプリケーションの整備を行った。</p> <p>(365,733)</p>
	公立義務教育諸学校情報機器整備事業	<p>義務教育課程の児童生徒1人1台端末環境を円滑に整備するため、徳島県公立学校情報機器整備基金を活用して、公立学校の学習者用コンピュータを整備・更新した。</p> <p>また、情報機器の入出力に困難を抱えた児童生徒を支援するため、徳島県公立学校情報機器整備基金を活用して、公立学校の入出力支援装置を整備した。</p> <p>(130,146)</p>
	G I G Aスクール運営支援センター整備事業	<p>児童生徒1人1台端末を含むI C Tを利活用した教育活動を推進するため、県と市町村が連携した広域の「G I G Aスクール運営支援センター」を設置し、サポート体制の強化に努めた。</p> <p>(22,125)</p>
	G I G Aスクールサポート人材配置事業	<p>県立学校におけるI C T関連業務を支援する「情報通信技術支援員（I C T支援員）」を民間業者委託により配置し、I C Tを利活用した教育活動を支援した。</p> <p>(23,556)</p>
	教育D Xハイスクール事業	<p>I C Tを活用した問題の発見・解決を行う探究型学習等を実施し、生徒が主体的に取り組み、社会に貢献する人材の育成を図った。</p> <p>また、生徒が創造的な活動に取り組めるよう、デジタル技術を活用できる実習環境（機器・アプリケーション）を整備した。</p> <p>さらに、「情報Ⅱ」の開設や各種測定機器の導入により、根拠のある手法やデータを具体的に用いて、生徒が主体的に可能性を追求する実践研究を行った。</p> <p>(80,367)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1. 未来を拓く力を育む教育の推進	T o k u s h i m a グローカル人財育成事業	<p>中学校及び中等教育学校前期課程から英語科教員が参加し、授業づくりや評価に関する研究会をブロック別に開催した。</p> <p>また、全校種での国内外の外国人との英語による異文化交流をはじめ、対面やオンラインで国際社会が直面する社会的課題について協働して学ぶ機会を提供した。</p> <p>さらに、世界の実体験へ踏み出す一歩を支援するため、学校が主催する海外姉妹校の訪問・受入及び海外語学研修等の経費の一部について支援を行った。</p> <p>留学及び海外進学に対する機運の醸成に向けては、中学生・高校生等を対象とした留学フェアを実施して最新の情報を提供するとともに、自分の言葉で意見や考えを述べる大切さとその姿勢を学ぶワークショップを開催し、エッセイ・ライティングの書き方について学ぶ機会を提供した。</p> <p style="text-align: right;">(15,253)</p>
2. 個性を活かし、確かな学びを育む教育の推進	生徒まんなか徳島版探究活動推進事業	<p>県内高等学校等において、学校の特色や魅力を活かしつつ行われている、生徒自ら課題を設定し解決策を探る探究活動等をより深化させるため、研究・実践等による活動や、全国発表等のイベント参加による協力者とのつながりの構築を支援した。</p> <p>また、「とくしま生徒まんなか探究活動成果発表会」を開催し、各校における探究活動の成果を共有することにより、徳島ならではの「探究活動」の深化に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(8,926)</p>
	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	<p>家庭・地域・経済団体・企業等の多様な主体と積極的に連携し、子どもたちが「ふるさととくしま」の未来を切り拓き、DXを見据えた「持続可能な社会」を創造する力を身に付けるとともに、自らのキャリアプランニング能力を高めることができるよう、「徳島ならではの」キャリア教育を展開した。</p> <p style="text-align: right;">(3,709)</p>
	未来につなぐ読書推進事業	<p>全ての子どもが豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり自ら学ぶことのできる力を養う読書活動の推進を図るため、家庭・学校・図書館・読書団体・多様な背景のある子どもを支援する機関等が連携・協働し、読書活動に携わる人材の育成や子どもの視点に立った読書活動の充実等に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">(1,939)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2. 個性を活かし、 確かな学びを育む教育の推進	とくしまGXスクール推進事業	脱炭素社会の実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生等、従来の「新学校版環境ISO」の取組に加え、環境とSDGsの関わりを意識した取組を実践する学校を、本県独自に「とくしまGXスクール」として認定し、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促すなど、小学校段階から高等学校段階まで一貫した取組を推進した。 (2,397)
	総合寄宿舍（三好寮）増設事業	三好池田寮を建設し、受入体制の拡充を図った。 (970,453)
	第3海部寮整備事業	第3海部寮を整備し、受入体制の拡充を図った。 (35,990)
	みんなでプロデュース産業教育推進事業	専門学科、普通科、総合学科などの異学科が連携し、さらに企業、高等教育機関などの協力により、地域の特色を生かした商品開発や販売活動を行い、産業教育の実践的な取組を推進した。 (1,390)
	ふるさと創生拠点ハイスクール拡大事業	人口減少が急速に進む地域にある那賀高等学校、海部高等学校、池田高等学校（本校）において、県外からの入学生を増加させるため、積極的に広報活動を実施した。海部高等学校においては、魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力の創出と「とくしま回帰」を促進するため、豊かな地域資源を活かした教育活動やグローバル教育を展開するとともに、同校の魅力を効果的に発信した。 (47,805)
3. 全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進	徳島あわっ子“愛♡藍”ネットワーク事業	不登校、いじめや暴力行為などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のため、スクールカウンセラーを各学校等に配置するとともに、スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置した。 また、より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師、臨床心理士、社会福祉士等）を学校等へ派遣するとともに、スクールロイヤー活用事業として法律の専門家である弁護士が学校をサポートするなど、教育相談体制の充実を図った。 (145,760)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3. 全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進	徳島子どもサポートネット事業	様々な心理的リスクを抱える児童生徒及び家庭への対応や支援策を協議するケース会議等において、多職種の専門家による支援チームが専門性の高い支援を実施することにより、複雑化・多様化する困難事案における学校の対応力強化を図った。 (258)
	学校問題解決支援事業	教職員の働き方改革に併せ、学校だけでは解決できない困難な問題に対して、学校問題解決支援コーディネーターやスクールロイヤー等による「専門家チーム」を県教育委員会内に設置し、組織的に対応できる体制を構築することにより、問題の早期解決を図った。 さらに、担当するスクールロイヤー1名が継続的に学校を訪問し、アウトリーチ型の支援事業を実施することにより、問題の未然防止及び早期発見・対応を図った。 (2,337)
	「校内サポートルーム」設置促進事業	不登校児童生徒のうち、別室なら登校が可能な児童生徒の「学びの場」を確保するため、県立中学校において、落ち着いた空間で学習・生活できる「校内サポートルーム」の設置促進を図った。 (969)
	DXでつながる特別支援教育「しえあとく」プロジェクト	専門家との協働により、幼稚園・小・中学校における「ポジティブ行動支援」を推進するとともに、高等学校・特別支援学校において事例検討を行い、実践研究報告会等で報告した。 また、特別支援学校において、VR等を活用した避難訓練や、テレワークを活用した就業体験、交流等を実施した。 (3,568)
	新時代「特別支援学校SDGs」創出事業	福祉事業所と連携し、共に育てた野菜等を活用したレシピを生徒たちが考案し、県のキッチンカーとコラボして地域の方に提供するとともに、パラスポーツや文化的な学習の実践、職業スキルを活かした四国霊場札所等でのお接待活動を実施した。 (4,927)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3. 全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進	新時代！特別支援学校「エシカルアクション」事業	<p>年間を通じて、特別支援学校が地産地消、6次産業化促進、地域課題の解決に向けて各校独自の強みを活かした取組を展開した。</p> <p>また、地元の農家や事業所と連携し、地域の特産物を最大限に活用した商品や製品を新規に開発し、地域に還元した。</p> <p>さらに、特別支援学校において、各障がい者特性に応じた消費者トラブル防止のための予防教育を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(2, 562)</p>
	新時代対応！国府支援学校整備事業	<p>文部科学省が策定した「特別支援学校の設置基準」に即応し、校舎の狭隘化・老朽化が進む「国府支援学校」をダイバーシティの先導モデルとして、「新校舎棟」の建築工事を実施するとともに、外構及びダイバーシティ棟の実施設計に着手した。</p> <p style="text-align: right;">(3, 347, 141)</p>
4. 人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進	世代を超えて開かれつながる社会教育推進事業	<p>持続可能な地域づくりのための若手人材育成と、高校生の多様なキャリア形成や実践型課題解決力などの資質向上のため、学校の枠を超えて集まった生徒がチームとなり、地域で活動するNPO等と連携協働しながら、ファシリテーション・取材交渉・資金調達などの手法を学び、地域の課題解決実践イベントやその経費に充てるためのクラウドファンディングを実施した。</p> <p style="text-align: right;">(1, 411)</p>
	「こどもまんなか」を目指した県立学校施設機能強化事業	<p>災害時の安心・快適な避難所としても活用できるようにするため、体育館の空調設備の整備やトイレの環境改善などに取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">(447, 375)</p>
	県立学校施設長寿命化推進事業	<p>「徳島県立学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化している学校施設を改修し、児童生徒が安全・安心に学ぶことのできる教育環境の整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(1, 933, 220)</p>
	県立高校空調設備整備事業	<p>保護者負担で運営されていた普通教室等の空調設備のリース契約の残期間を県が継承し、経費を負担することにより、生徒の安全・安心で快適な教育環境の整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(263, 111)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5. 地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進	地域防災人材育成推進事業	小学校高学年を対象にした防災学習プログラム「あわっ子防災チャレンジ」を推進し、発達段階に応じた実践的な防災教育の充実を図った。 また、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、「地域防災人材育成講座」を開催し、「中・高生防災士」を養成するとともに、学校防災の要であり防災教育に係る指導的立場を担う「教員防災士」を養成した。 (4,371)
	ふるさと大好き！地域防災推進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成を図った。 (1,839)
	学びの保障のための学校教育活動事業	公立学校において、児童生徒の学力向上に資する学校教育活動の一環として行われる授業や補充学習、教員の指導力向上支援等のため、退職教員や教員志望の学生等の地域人材を「学びサポーター」として学校に配置し、学びの支援に必要な人的体制の充実を図った。 (11,520)
	教員業務支援員配置促進事業	授業準備や教員が行う事務作業、教育活動に係る事務等をサポートする「教員業務支援員」の配置を促進し、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制の整備を図った。 (26,442)
	副校長・教頭マネジメント支援員配置促進事業	副校長や教頭の学校マネジメント等に係る業務を専門的にサポートする「副校長・教頭マネジメント支援員」の配置を促進し、副校長や教頭が教員への指導などに注力できる体制の整備を図った。 (7,797)
	あわっ子（文化・運動）部活動サポーター（部活動指導員）配置支援事業	学校教育活動の一層の充実及び教員の働き方改革の実現を図るため、中学校に「あわっ子部活動サポーター（部活動指導員）」を配置した。 (26,760)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5. 地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進	(文化・運動)部活動の地域移行等実証事業	中学校における休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、「地域人材の確保」や「費用負担の在り方の整理」、「運営団体の確保」などの課題解決を検証するため、実践研究を実施した。 (11,329)
	産業医面接指導強化事業	長時間労働による心身の健康悪化を未然に防止するため、著しく時間外在校等時間が増加するなどした県立学校教員に対し、「産業医の面接指導」を実施した。 (2,046)
6. 文化・スポーツが躍動する教育の推進	次代へ継承・文化芸術創造事業	本県の文化芸術力を全国に発信するため、平成27年に文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高等学校を文化芸術の拠点校として育成するとともに、城北高等学校人形会館を活用し、阿波人形浄瑠璃の伝承に取り組んだ。 また、郷土の未来を担う若者の手で伝統芸能を盛り上げるため、阿波人形浄瑠璃及び阿波おどりに取り組む県立6校が参加し、「U-18阿波おどり・人形浄瑠璃フェスティバル」を開催した。 (23,928)
	あわっ子グローバル文化芸術事業	あわっ子文化大使・あわっ子文化大使サポーターである県内中高生が国内外へ「あわ文化」の魅力発信を図った。 また、中学校教員を対象に、あわ文化教育に係る研修を行った。 さらに、県中学校文化連盟と連携し、県中学校総合文化祭の開催並びに全国中学校総合文化祭へ生徒の派遣を行った。 (2,035)
	とくしま競技力向上指定校事業	全国大会で継続的に上位入賞ができる高等学校運動部の強化と指導者の育成を図るため、トップ指定校・チャレンジ指定校のカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (12,031)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高等学校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家によるサポートを行うとともに、専攻実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。 (10,499)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額の比較
教育政策課	247,811,000	251,433,808	251,433,808	0	0	3,622,808
教育DX推進課	2,037,902,000	1,845,598,457	1,845,598,457	0	0	△ 192,303,543
施設整備課	602,869,000	567,914,088	567,914,088	0	0	△ 34,954,912
教育創生課	20,167,000	19,975,570	19,975,570	0	0	△ 191,430
教職員課	11,079,602,000	11,104,587,874	11,104,587,874	0	0	24,985,874
福利厚生課	1,359,880,000	1,360,054,420	1,360,054,420	0	0	174,420
義務教育課	33,914,000	18,735,585	18,735,585	0	0	△ 15,178,415
高校教育課	765,740,000	766,194,036	766,194,036	0	0	454,036
特別支援教育課	1,389,231,000	1,385,303,363	1,385,303,363	0	0	△ 3,927,637
人権教育課	15,629,000	299,147,149	20,223,866	594,430	278,328,853	4,594,866
いじめ・不登校対策課	72,774,000	69,654,934	69,654,934	0	0	△ 3,119,066
体育健康安全課	157,521,000	113,358,091	113,358,091	0	0	△ 44,162,909
生涯学習課	3,259,572,000	3,248,820,734	3,248,820,734	0	0	△ 10,751,266
計	21,042,612,000	21,050,778,109	20,771,854,826	594,430	278,328,853	△ 270,757,174

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	2,238,860,000	2,153,600,841	0	85,259,159	85,259,159
教 育 D X 推 進 課	2,734,559,000	2,474,480,984	65,000,000	195,078,016	260,078,016
施 設 整 備 課	6,023,890,000	3,206,342,395	2,771,961,000	45,586,605	2,817,547,605
教 育 創 生 課	32,218,000	29,117,962	0	3,100,038	3,100,038
教 職 員 課	59,978,934,000	59,304,749,051	0	674,184,949	674,184,949
福 利 厚 生 課	8,088,758,000	7,557,120,680	0	531,637,320	531,637,320
義 務 教 育 課	227,608,000	192,331,220	5,500,000	29,776,780	35,276,780
高 校 教 育 課	1,366,830,000	1,340,602,796	0	26,227,204	26,227,204
特 別 支 援 教 育 課	4,000,208,000	3,500,167,415	481,015,900	19,024,685	500,040,585
人 権 教 育 課	44,054,000	42,027,302	0	2,026,698	2,026,698
いじめ・不登校対策課	191,485,000	183,202,855	0	8,282,145	8,282,145
体 育 健 康 安 全 課	233,937,000	180,499,918	0	53,437,082	53,437,082
生 涯 学 習 課	1,975,400,000	1,916,423,824	30,000,000	28,976,176	58,976,176
計	87,136,741,000	82,080,667,243	3,353,476,900	1,702,596,857	5,056,073,757

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
生涯学習課	奨学金貸付金 特別会計	92,248,000	681,411,425	603,120,209	0	78,291,216	510,872,209
計		92,248,000	681,411,425	603,120,209	0	78,291,216	510,872,209

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施設整備課	県有林県行造林 事業特別会計	250,000	248,696	0	1,304	1,304
生涯学習課	奨学金貸付金 特別会計	92,248,000	90,737,812	0	1,510,188	1,510,188
計		92,498,000	90,986,508	0	1,511,492	1,511,492